政策研究センター　リサーチ・プロジェクト　最終成果報告書

提出日: 2018/3/25

申請者(リーダー): 河野　元子　　職名　助教授

リサーチ・プロジェクト名:

(和文)	新興国の科学技術発展をめぐるポリティカル・エコノミー:国家間比較をめざして
(英文)	Comparative Study of Emerging States: Political Economy of Technology and Science

期間(yyyy/mm/dd): 2018/6/1　から　2019/3/31　1年間

共同研究者:	氏名	職名	所属機関・部局名	(備考)
共同研究者1	恒川　惠市	客員教授	政策研究大学院大学	
共同研究者2	Khoo Boo Teik	教授	政策研究大学院大学	
共同研究者3	Intarakumnerd, Patarapong	教授	政策研究大学院大学	
共同研究者4	Kanchoochat, Veerayooth	准教授	政策研究大学院大学	
共同研究者5	岡部　恭宜	教授	東北大学	

リサーチ・プロジェクトの目的

本研究は、現代アジア新興国および新興国になりつつある国々および代表的な新興国である中南米と比較しつつ、(1)成長著しい新興国のこれまでの発展にはどのような特色があるのか、(2)持続的経済成長のためにこれから必要な技術力を新興国が獲得する上で直面する課題は何か、というふたつの問いを、複数年かけて行う研究の課題として設定した。とくに「技術と政治」に着目して、経済発展には社会的・政治的利害の調整が不可欠というポリティカル・エコノミーの視点を中心に据えつつ、技術能力向上の政治的・社会的条件の探求を行う。

研究成果の概要(800字程度):

本年度は、複数年かけて行う本研究の準備期間であった。1)国際会議、学会・研究会などをとおして、関連研究の人材発掘(とくに若手)およびネットワークづくり、2)他方で、設定課題の見直しが重要な研究成果となった。具体的には以下の通りである。

(1)人材発掘およびネットワークづくり:　代表者は、天然資源型産業の発展可能性について、とくにR&Dをめぐる官民の役割と国家間の違いについて研究を進めるとともに、国内外の学会、会議において報告する一方、参加者との意見交換を進め、人材発掘および当該分野のネットワークづくりを活発に行った。共同研究者は、個々の専門分野、例えば、イノベーションシステム、高付加価値化、人的育成と社会問題、政府間協力などの視座から本研究の課題に取り組んだ。一方で、国際会議やワークショップに積極的に参加し、とくに若手研究者の発掘およびネットワークづくりを進めた。その結果の一部として、2019年3月23日GRIPSにおいて、海外からの若手研究者を招聘、国内の研究者とあわせて今後の研究の可能性を探る意味も含めた国際ワークショップを開催した。土曜日にかかわらず、44名の参加があり、活発な議論が行われた。その中で、中国と東南アジアの強まる関係性、加速が続くグローバル化のなかでの労働問題、産業発展のための新しい産業化の問題などが今後の重要な課題として浮かび上がり、大変有意義なワークショップとなった。(2)設定課題の見直し:諸活動をとおして、本課題の遂行可能性を再考した。最終ゴールを、新興国研究の発展を目指していることもあり、当初は広い地域をカバーすることを想定し、東南アジア新興国を中心に、典型的新興国といわれてきた中南米とを比較することを考えた。しかしながら、研究メンバーの多くが東南アジア新興国を研究対象としていること、現在の著しい国際情勢の変化などから、まずはアジアに限定して歴史的経路・現在・これからの課題を考えるよう、課題を見直すこととした。国際ワークショップはじめで見出された新しい知見はじめを踏まえて、来年度も研究を発展させていく所存である。

研究成果:

別紙((成果報告書(研究成果一覧))に記入

その他、研究成果として特記すべき事項:

※政策研究センターのリサーチ・アシスタント(RA)雇用に採択されたプロジェクトについては、RAを雇用したことによって得られた研究成果(例:RA氏名が記載された①論文発表、学会発表など。予定も含む。)を必ず記載してください。

(全ての項目含め、1頁以内で記述してください。)

研究成果一覧:
(発表予定を含む。但し、投稿中、投稿準備中は除く。別紙一覧でも可。)
(必要に応じて適宜追加)

論文((学術雑誌(総合雑誌(文藝春秋、中央公論、世界)を含む。)等掲載)
※査読付きのものは、査読欄に「1」を入れてください。
※共著論文の場合には、ご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。
※国際共著とは、異なる国を拠点とする複数の研究者による共著論文を意味します。

	著者	標題 (5 件)	雑誌名 /所収図書の編者・図書名・出版者等	巻・号 /章・節	発行年 (件)	開始ページ	終了ページ	査読 (有=1) (2)	国際共著 (yes=1) (0)	DOI	オープンアクセス (yes=1) (2)
1	Motoko Kawano	'Changing Resource-Based Manufacturing Industry in Malaysia and Thailand'	*Emerging States at Crossroads*, edited by Keiichi Tsunekawa and Yasuyuki Todo, Springer		2019	145	162				1
2	Keiichi Tsunekawa	'Globalization and the Emerging State: Past Advance and Future Challenges'	*Emerging States and Economics*,edited by Takashi Shiraishi and Tetsushi Sonobe, Springer		2019	31	71				1
3	Keiichi Tsunekawa	'Emerging States in Latin America: How and Why They Differ from their Asian Counterparts'	*Emerging States at Crossroads*, edited by Keiichi Tsunekawa and Yasuyuki Todo, Springer		2019	71	96				
4	Khoo Boo Teik	'Political Turbulence and Stalemate in Contemporary Malaysia: Oligarchic Reconstitution and Insecurities'	*TRaNS: Trans-Regional and – National Studies of Southeast Asia*,6,2		2018	227	251	1			
5	Patarapong Intarakumnerd	'Thailand's Middle-Income Trap: Firms' Technological Upgrading and Innovation and Government Policies'	*Seoul Journal of Economics*, 32 (1)		2019	107	135	1			

図書:
※共著の場合にはご自身の名前の下にアンダーラインを引いてください。
※書籍の一部分のみを執筆した場合には論文の区分に含めてください。

	著者・編者	図書名 (2 件)	出版社	発行年月	総ページ数
1	Keiichi Tsunekawa and Yasuyuki Todo, editors	*Emerging States and Crossroads*	Springer	2019年1月	293+13頁
2	Khoo Boo Teik, editor	*Divides and Dissent: Malaysian Politics 60 Years after Merdeka*	Special Issue of Southeast Asian Studies, *7, 3*	2018年12月	212頁
3					
4					
5					

口頭報告・学会発表等:
※査読付きの学会論文集は「論文の区分」で報告し、査読なしの学会論文集は「学会発表の区分」で報告してください。
※招待講演については、学会等名の後に(招待講演)と明記してください。

	報告者等	論題 (4 件)	学会・研究会名等	報告年月日	開催場所
1	河野元子	「タイ・天然ゴム産業の高度化をめぐる官民の役割:マレーシアとの比較より」 自由応募分科会2「東南アジアにおけるアグロ資源利用型産業の発展可能性と課題」	2018年度アジア政経学会春季大会	2018年6月9-10日	学習院大学
2	Motoko Kawano	'Development Potential of Rubber Industry in Southeast Asia: Learning from Malaysia and Thailand'	2018 Inrernational Rubber Conference, (invited speaker)	2018年9月4-6日	Kuala Lumpur Convention Center, Malaysia
3	Khoo Boo Teik	'Viewing the Belt and Road Initiative from a Mahathirist Imaginary'	International Conference on The Political Economy of the Belt and Road Initiative: Perspectives from Southeast Asia	2018年12月8日	Nanyang Technological University, Singapore
4	Patarapong Intarakumnerd	'Applying Innovation System Concept to Creative Tourism: A Case Study of Thai Floating Market'	Asialics Conference 2018(invited speaker)	2018年8月25-26日	Zejiang University, Hangzhou, China
5					